

第10回 じんけんカタリバ

「生理をタブーから解き放つ」

コロナ禍は特に女性に深刻な影響を与えています。このような状況の中、注目されるようになった問題として「生理の貧困」があります。

生理が「穢れ」と考えられ、生理中の女性が排除・隔離された時代がありました。生理への偏見は今も完全になくなっておらず、恥ずかしいもの、隠すものとされ、気軽に話題にできる環境とはいえません。

しかし、生理は女性の健康に直結する大切な体の仕組みです。性と生殖に関する健康と権利を考えるうえで生理へのタブーがなくなることが重要です。

そのために私たちの認識をどのように変えればよいのでしょうか。生理にまつわる歴史的、社会的背景を学びつつ、性別を超えてみんなで考えてみたいと思います。



日時：2021年11月25日(木) 午後6時30分～8時

定員：30名(先着順)

参加費：無料

講師：田中 ひかるさん

<プロフィール>

1970年東京生まれ。歴史社会学者。博士(学術)。立教大学兼任講師。

女性に関するテーマを中心に、執筆・講演活動を行う。

著書に『生理用品の社会史』(角川ソフィア文庫)、

『月経と犯罪 生理、はどう語られてきたか』(平凡社)、

『明治を生きた男装の女医 高橋瑞物語』(中央公論新社)、

『「オバサン」はなぜ嫌われるか』(集英社新書)などがある。

<http://tanaka-hikaru.com/>



申込み：次のうちいずれかの方法でお申込みください

1) ヒューライツ大阪ウェブサイト

(<https://www.hurights.or.jp/japan/>)にアクセス、
もしくは右のQRコードを読み取り入力してください。

2) Eメール(webmail@hurights.or.jp)で申込み→お名前/
メールアドレス/電話番号/セミナーのタイトル/お住
まいの都道府県or 国/ 所属(あれば)を必ず記入してく
ださい。

申込み用QRコード



<https://forms.gle/jYkRaAialhUfHmYE6>

主催：(一財)アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)
TEL:06-6543-7003 Eメール:webmail@hurights.or.jp
住所：大阪市西区西本町1丁目7-7 CE西本町ビル8階